

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	定時制	学科 (コース・部)	電気科	募集定員	40人
-----	-------------	----	-----	---------------	-----	------	-----

## 求 め る 生 徒 像

本校は、工業専門高等学校定時制として、普通科目の基礎基本の確実な定着を図るとともに、工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を身に付けるため、専門教育の充実に取り組んでいます。次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 電気・電子・情報に対する興味・関心があり、自ら電気実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組むことができる生徒
- 2 定時制課程(夜間)において、卒業に向けて前向きに学業に励む生徒
- 3 基本的な生活習慣が確立していて、道徳やルールを守ることができる生徒
- 4 中学校で学習や生活に意欲的に取り組んだ生徒
- 5 資格取得に挑戦するなど、将来は電気系の専門分野への就職を目指す生徒

特に、特色選抜においては、上記1～5の全てに当てはまる生徒を重視します。

## 第 一 次 募 集 ( 選 抜 方 法 等 )

選抜順序	共通選抜	→	特色選抜	面接・実技・作文のうち 実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース			機械科	面接
<b>共 通 選 抜</b>	4人 (募集定員の10%)			I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機・学習意欲 (2) 基本的な生活習慣・ 中学校生活 (3) 生活・行動 (4) 興味関心 (5) その他 4 観点 (1) 態度 80点 (2) 表現力等 435点  ※面接については、1日目に実施する。
学力検査:調査書	3 : 7			
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は3:7とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」				
<b>特 色 選 抜</b>	36人 (募集定員の90%)			
I 配点 1 調査書 390点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を4.0倍にする 2 学力検査 125点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……得点を0.25倍にする 3 面接 515点 合計 1030点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する36人の120%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 III 社会人特別選抜:有 ・ 学力検査を免除し、面接を実施する。(面接については学校へ問い合わせること。)				

## 第 二 次 募 集 ( 選 抜 方 法 等 )

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書 390点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を4.0倍にする	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校生活 (3) 入学後の生活 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等
2 学力検査 200点 ・ 国語, 数学(各教科100点満点)	
3 面接 5段階評価(A~E) 合計 590点	
II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	定時制	学科 (コース・部)	機械科	募集定員	40人
-----	-------------	----	-----	---------------	-----	------	-----

## 求 め る 生 徒 像

本校は、工業専門高等学校定時制として、普通科目の基礎基本の確実な定着を図るとともに、工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を身に付けるため、専門教育の充実に取り組んでいます。次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 機械の原理やしぐみに対する興味・関心があり、自ら製作実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組むことができる生徒
- 2 定時制課程(夜間)において、卒業に向けて前向きに学業に励む生徒
- 3 基本的な生活習慣が確立していて、道徳やルールを守ることができる生徒
- 4 中学校で学習や生活に意欲的に取り組んだ生徒
- 5 資格取得に挑戦するなど、将来は機械系の専門分野への就職を目指す生徒

特に、特色選抜においては、上記1～5の全てに当てはまる生徒を重視します。

## 第 一 次 募 集 ( 選 抜 方 法 等 )

選抜順序	共通選抜	→	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース			電気科	面接
<b>共通選抜</b>	4人 (募集定員の10%)			I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機・学習意欲 (2) 基本的な生活習慣・ 中学校生活 (3) 生活・行動 (4) 興味関心 (5) その他 4 観点 (1) 態度 80点 (2) 表現力等 435点  ※面接については、1日目に実施する。
学力検査:調査書	3 : 7			
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は3:7とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」				
<b>特色選抜</b>	36人 (募集定員の90%)			
I 配点 1 調査書 390点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を4.0倍にする 2 学力検査 125点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……得点を0.25倍にする 3 面接 515点 合計 1030点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する36人の120%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 III 社会人特別選抜:有 ・ 学力検査を免除し、面接を実施する。(面接については学校へ問い合わせること。)				

## 第 二 次 募 集 ( 選 抜 方 法 等 )

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書 390点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を4.0倍にする 2 学力検査 200点 ・ 国語, 数学(各教科100点満点) 3 面接 5段階評価(A~E) 合計 590点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校生活 (3) 入学後の生活 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等